

# News Release

**Kanadevia**  
Technology for people and planet

カナデビア株式会社

2025年12月10日

## COP30「ジャパン・パビリオン」にて登壇及び出展、 脱炭素と廃棄物処理のソリューションを提示

カナデビア株式会社は、2025年11月10日から11月22日までブラジル連邦共和国のベレン（パラー州都）で開催された国連気候変動枠組条約第30回締約国会議（COP30）に参画しました。

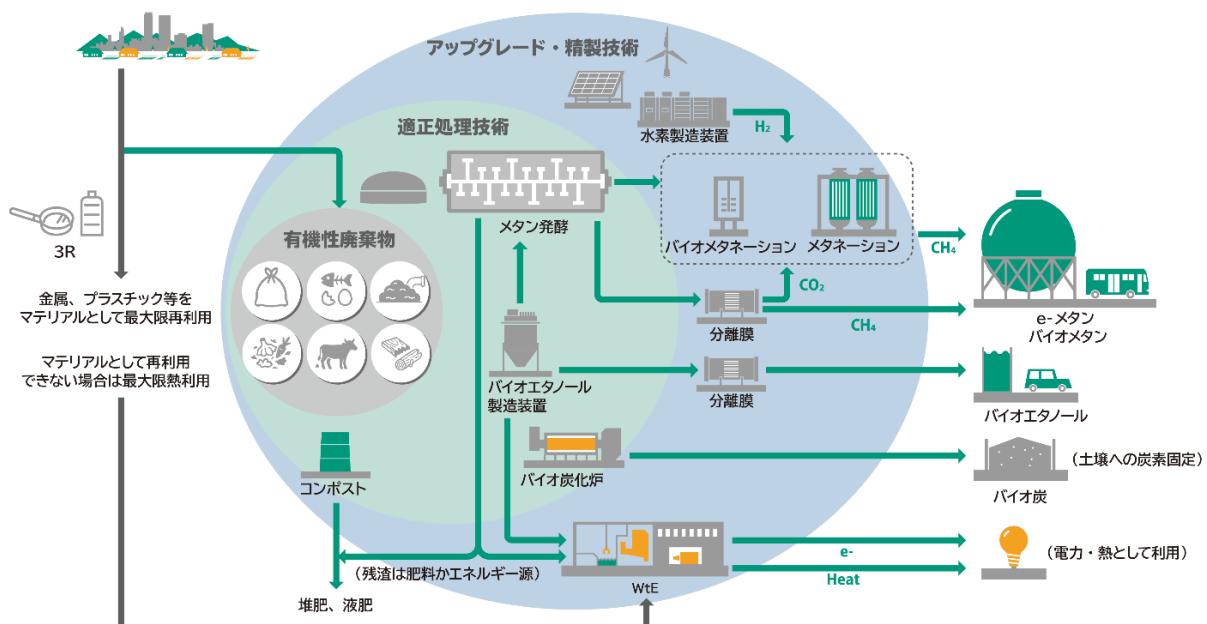
期間中には、当社の桑原道社長兼CEOが、環境省主催（共催：独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）、公益財団法人地球環境戦略研究機関（以下、IGES））のセミナーにおいて、「インド・マハラシュトラ州-大阪市連携～グリーン水素とe-メタンによるカーボンニュートラルへの貢献～」について講演を行いました（参考）。また、「ジャパン・パビリオン」において、当社の廃棄物処理分野における脱炭素技術を中心としたソリューションを提示する出展を行いました。

【環境省主催セミナーで講演する桑原社長兼CEOや展示ブースの様子】



当社は、ジャパン・パビリオンにおいて「廃棄物資源をまるっと使い切って世界の日常を脱炭素」をテーマに展示を行いました。具体的には、近年、世界的に改めて対策の必要性が高まっている、温室効果ガス (GHG) の一つであるメタンの排出削減・回収・利用に焦点を当て、有機性廃棄物の資源利用・適正処理技術を中心とした脱炭素と廃棄物処理を両立させる当社のソリューションを展示しました。この展示は、100以上の様々な国と地域から、各国閣僚など要人も含め750名以上の多くの来場者を集めました。

当社は、廃棄物の衛生的な処理やごみの埋立回避によるメタン排出削減はもちろんのこと、メタン発酵・回収・利用によるエネルギーの創出など、様々な廃棄物処理ソリューション技術を保有しています。世界の多くの国では、廃棄物問題・温暖化対策に積極的に取り組んでおり、このような当社の技術は世界の環境問題解決に寄与するものであることを改めて認識しました。



(参考) 桑原社長兼CEOが講演したセミナーの概要および講演内容の要約

#### 【セミナーの概要】

タイトル：クリーン・シティ・パートナーシップ・プログラム (C2P2) セミナー

主催者名：環境省（共催：独立行政法人国際協力機構 (JICA)、公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)）

実施日時：2025年11月12日（水）15:45～17:00（内、当社約10分）

当社登壇内容：インド・マハラシュトラ州－大阪市連携

～グリーン水素とe-メタンによるカーボンニュートラルへの貢献～

#### 【講演内容要約】

##### 1. 会社紹介

当社は、2024年10月に「日立造船株式会社」から「カナデビア株式会社」に商号を変更しました。140年以上前に日本の大阪で創業し、技術と誠意で豊かな社会づくりに貢献してきました。

現在は「環境」「機械・インフラ」「脱炭素化」の3つの分野でグローバルにビジネスを展開しています。

## 2. 大阪市とマハラシュトラ州における都市間連携事業の具体的な取り組みについて

日本とインドは温室効果ガス削減目標達成に向けて、JCM（二国間クレジット制度）を活用した脱炭素技術導入プロジェクトの構築を進めています。マハラシュトラ州では脱炭素化・環境保全に貢献するため、大阪市と都市間連携事業を開始しました。

当社は脱炭素技術導入の促進に貢献するために、自治体間連携と官民連携による調査を実施し、この都市間連携事業において2つのFSプロジェクトを進めています。

### （1）グリーン水素製造・利用プロジェクト

マハラシュトラ州は2030年までに年間50万tのグリーン水素を製造することを目標としており、当社の水素製造装置の導入を検討しています。化石燃料由来の水素からグリーン水素の利用への転換が目的です。

### （2）グリーン水素とバイオガス由来のCO<sub>2</sub>を利用したe-メタンプロジェクト

有機性廃棄物から生成するバイオガスの利用拡大に加え、ゼオライト膜によりバイオガスに含まれるCO<sub>2</sub>を高純度で回収し、グリーン水素とのメタネーション反応によりe-メタンを生成します。当社はこれらの水素製造装置、ゼオライト膜によるバイオガス精製、メタネーションの技術を有しております。グリーン水素をe-メタンに変換することで既存インフラを活用することができます。バイオガスおよびe-メタンを化石燃料の代替とすることで、環境汚染とメタン排出の双方を抑制でき、資源の有効利用に貢献できます。

カーボンニュートラルへの道のりは、政府、都市、金融機関、ソリューションプロバイダーなど、様々な立場の人々が手を携え、すべての人々が共に歩まなければならないものです。私たちカナデビアにはそのソリューションがあります。私たちは技術を提供するだけでなく、持続可能な都市を皆さんと共に創っていきます。脱炭素の世界を一緒に作っていきましょう。

（終）